

1. 件名:「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-19))」

2. 日時:令和5年2月13日(月) 10時00分~10時40分

3. 場所:原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

古作企画調査官、大橋上席安全審査官、田尻主任安全審査官、藤原主任安全審査官、大岡安全審査官、上出安全審査官、武田安全審査官、瀬戸川安全審査専門職、高梨安全審査専門職、清水係員

日本原燃株式会社 再処理事業部 事業部付部長(設工認・耐震)他9名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

6. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書(令和4年12月26日)
「日本原燃(株)から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和４年
12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更
の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	旅行を開始しました。
0:00:02	規制庁市民です。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始しますと本日のヒアリングは令和4年12月26日に申請があった設工認申請について、ヒアリングにて事実確認を行うものになります。
0:00:17	まず規制庁側の出席者を紹介します。本庁会議室からタジリタカナシフジワラシミズ。
0:00:25	その他WEBからコサクカミデオオカオオハシタケダセトガワ以上になります。
0:00:33	あと日本原燃の方から出席者の紹介とそれぞれの役割について説明し、また本日のヒアリングでの説明項目をまずは説明してから、藤説明始めてください。
0:00:49	はい。日本原燃事務局中浜でございます。
0:00:52	原燃側の出席者紹介いたします。
0:00:56	まず、事務局より、サトウタカハシ。
0:01:00	イシハラフジノ。
0:01:02	ナカハマ。
0:01:04	類型分類関係で、エビナタナカ。
0:01:08	設備構造関係で、シミズ、
0:01:12	火災水関係でチダ、SA関係で、ホリグチ以上が参加してございます。
0:01:20	本日は、会合資料と、累計分類、及び設備構造に関してですね、状況の説明をさせていただきたいなと思ってございます。
0:01:31	それでは介護資料の方から先に進めさせていただきます。
0:01:39	日本原燃の佐藤でございます。介護資料ですけれども、この後またちょっと状況をご説明いたしますが類型分類のところ耐震それから竜巻の最初の設備数のところ、ここがですね金曜日の段階で確定できておらず資料提出できておりません。
0:01:56	本日朝と思ってたんですけども、今ちょっと最後の精査の作業をやっておりまして、この後の段階でもまだお出しできない状態で資料の方ない状態です。設備数確定次第ですね、数値を入れて、昼から耐震
0:02:12	地盤のヒアリングマンションに聞いておりますので、可能であればその状況も踏まえてその資料を反映したもので、本日提出したいというふうになっております。誠に申し訳ございません。状況は以上です。

0:02:27	規制庁志水です。
0:02:30	清長丹治です。本当に状況だけ話されたんですけど、今どういうふうにまとめてっていうところの話も何もせずに、遅れるだけですっていうのでいきます。
0:02:44	ちょっといいですけど数がそろってないって話なのか、整理の仕方もまとまってないのか、いろいろ状況が違うと思ってるんですけど。
0:02:53	はい。逃げれ視野でございます。審査会合資料のパーツそれぞれに対しての状況として、まず設備の分類の話、金曜日の時点で各課後、取りまとめの担当で集めてもらったものを、
0:03:10	すいません、週末私の方でチェックをして、ここはちょっとおかしいんじゃないかとかここちょっと調べてくれというリクエストを、今日の朝の時点で、
0:03:21	関係箇所にあります。それほど多い数ではありません2、3ヶ所ですので、そこのフィードバックを受けた上で資料の完成に行けると。
0:03:32	思っております。それで設備の分類の話につきましては、耐震のDBの耐震、SAの耐震、竜巻、それぞれのシートについて、
0:03:45	審査会合資料に入れてですね、本日提出できる状況になっていると思ってます。あとそれとは別に、設備分類の方としては先ほどの3枚のシート2の中の、それぞれの分類に入っている設備はどんなものがあるかと。
0:04:01	いう表をですねつけて、お出しをへ載せさせていただきたいと思ってます。全然箸にも棒にもかからないという状況ではないので今日の時点で確定できると思っております。以上です。
0:04:15	規制庁の鍛治です。先ほど状況はわかったんですけど設備分類の数獲得に関しても別に1個だけ数字を書くわけじゃなくてその中において、
0:04:26	耐震だってSクラスBからCクラスとか波及影響だとかいろんな項目あり得る話だったとあっていて、竜巻とかに関しても、設備リストに書いてないやつはどうするんだとか、SAとの関連のやつはどうするんだとかじゃ管理施設はどう書いてんだとかそういう話があったかと思うんですけど。
0:04:42	最低限どういう登場人物書こうとしてるか、工事部っていうとまたぐちゃぐちゃになるかもしれないけど、設備数に関して、まず母集団変えた

	上で、何を何の分類で変えていこうとしているかの考えぐらい聞いていいですか。
0:04:56	はい、二本木石田でございます。一つ一つ、項目、今何を書こうとしているかご説明をさせていただきます。56条のDBの耐震側につきましてはの新規に設置するもの。
0:05:10	これは再処理施設と廃棄物管理施設を分けて書こうと思ってまして再処理施設の方は、耐震分類上のSクラスの機器とCクラスの機器が該当しますのでそれぞれの数を行う書こうと思ってます。
0:05:22	DCクラスの機器については、Sクラスへの波及影響を考慮する施設が何件かを内数として過去に示そうと思ってます。
0:05:30	廃棄物管理施設の方については、新規のものはCクラスしかありませんのでこの数を書こうということで考えております。これがDBの耐震のAの項目でございます。
0:05:41	Bの耐震の方はその他にB1がございまして、こちらでも再処理と廃棄物管理施設を分けて記載をしようと思ってまして、最終機構については、
0:05:51	Ssが関係するということでSクラスの機器、
0:05:55	そのうち、内数として、耐震クラスの変更がかかったものが何件あるかと、あとこれ格上げになったものですね、の内数の数を書くこと。
0:06:04	あとは、Sクラスへの波及を考慮するBクラス、あとCクラスそれぞれの数を書こうと思っております。
0:06:10	あとはそれぞれ全体にかかった上で、工事を今回実施して改造したものの、特にこちらは耐震補強したものを、数として内数をピックアップするつもりでございます。
0:06:22	廃棄物管理施設については、Sクラスの機器が何機。
0:06:26	あとはSクラスに波及影響を及ぼす考慮する、Cクラスが何基まで同じように工事を実施する耐震補強が必要なものが何基ということの数字を示そうと思ってございます。
0:06:39	はい。あと竜巻でございますが、竜巻については、の新規に設置するもの、これは竜巻防護対策設備が何基かということ、あとは竜巻への防護対象施設が何機。
0:06:53	あとこちらについては評価対象が内規あるかということ、評価対象というのは屋外にいて、品でしょ、評価をしなきゃいけないようなものが内数で入ってきます。

0:07:03	あとそれ以外に新規のものとしてご対象にならないような安全機能を有する施設が何基いるかということ、ADDとしては書こうと思っています。
0:07:14	それに加えて、SAD新規に設置されたもので、竜巻の考慮を必要とするものというものの基数、
0:07:22	と、その内数内数でA評価が非評価対象になるものが何かということを書こうと思っています。
0:07:29	廃棄物管理施設の方の新規は先ほどCクラスと言いました安全もありませんので安全機能を有する施設として何件かということ。
0:07:37	この安全機能を有する施設については、評価対象ではなく新規といっても竜巻の設計としてはB4に近いものにはなりますがとはいえ新規に設置しますのでA側にカウントしようと思っています。
0:07:50	あと、竜巻に関係するものとしてはB2、こちらも先ほどと同じように、
0:07:56	防護対象とか評価対象とかっていう地図を書きますこれも順番にいきますと再処理施設については防護対象が何きるか、その内数で評価対象となるのが何基か。
0:08:06	あとはこの建物に収納してという建物が防護対象にならないチームがいますので、建物としてその後に必要な設備という意味で、何個、そいつがいるのかということ。
0:08:19	あと波及的影響分、CL施設として考慮する、評価しなきゃいけないのがないかということ、これについてもそれら全体に対して工事を実施する設備が何基いるかというのを書こうと思っています。
0:08:31	これのBの方の再処理もあわせて先ほどと同じでSAについても同じように防護対象何基評価対象何基ということ、必要かと思えば内数ですけども確保と思っています。
0:08:43	廃棄物管理施設ですがこちらは、防護対象何基内評価対象何基か、または防護に必要な設備というのは先ほどあった安重の建物でないものは
0:08:55	評価対象になるんですけども防護対象にならないのでそれが具体的に何個いるのか。
0:09:00	あと波及的影響を及ぼす施設として評価するのが何基かということの数を、今Bのところにはカウントをしようと思っています。
0:09:11	はい。

0:09:13	清野耐震の方については、常設耐震需要が常設耐震重要以外か、あとは1.2を考慮する施設かと。
0:09:23	ということとかハンガ何基かというのを、のところにはこうと思ってます。
0:09:28	備品のところについては、常設耐震が幾つ増設する上は、1.2を考慮する対象設備としての基数と、
0:09:39	あとは起因として1件2を考慮する施設それぞれ何基いるかということ。
0:09:44	あと合わせて工事を実施するものが何基床と、この工事は接続設置施設とかいって2を考慮した耐震補強とかというのが、数がカウント、括弧書きされるといってございます。
0:09:58	はい。そういう形で今対象物を特定して数のカウントをしようということで整理をしてございました。
0:10:06	実際の週末でやっていたのは、ここの各ところの数だけ負担に違う。何でか。それが何でって考えるものと、確かに考え方が合ってるよねと。
0:10:16	ということを見に行っているということでございます。以上です。
0:10:20	中条谷井です。とりあえず竜巻で大きく3点あるか。
0:10:25	たいんですけど
0:10:25	まずAのところ、防護対象と言った後に評価対象という形で、
0:10:30	防護対象っていうのは評価対象と残りの案いうってことで今評価対象という+と防護と
0:10:37	駄目になるようなイメージ
0:10:41	はい。日本原燃石原でございます。防護対象屋外に、今回の防護対象に出てくるものってのが、新規で屋外に設置するものが、
0:10:52	メインと幹と、あとはおかせでフィルターみたいに気圧差を見なきゃいけないものが2基いるので、防護対象施設としてカウントされるのと評価対象施設としてカウントされるのは同じ数になると思ってました。
0:11:07	安全機能を有する施設というのは防護対象にはね安重にならないようなもので新規に達したものが、それ相応に数に入りますので、年金の輸送施設と防護対象はカウントか、かぶらない。
0:11:20	ということになってます。規制庁谷です外部事象の対象っていうのは防護対象っていう言葉がどういう意味で言ってるかによるんですけどああいいうすべてが一応対象野瀬条文対象にはなっていて、

0:11:32	そん中に防護対策とかやらなければいいよ、機能を守らなきゃいけないものっていう意味で防護対象って言うところ幾つかに、
0:11:40	はい。日本原燃石田でございます。そういう意味では防護する設備としてっていう最初に安全機能を有する施設はっていうので、始まって安全機能を有する施設のうち、安全をまずは対象にして守ります。
0:11:55	それ以外のIUについては、言うてくらの、最初に安全を対象にしますとこのカウント今防護対象としてカウントしてました。以上です。はい、規制庁帯磁率趣旨がわかったんですけどそこがわかるようにしといていただければ十分要求との関係で何を対象にして、
0:12:13	うん。
0:12:13	あとSAの話のところでは是正
0:12:25	はい。日本原燃石田でございます。固縛が必要なものもカウントが今できるようにしてありますが今ですね、
0:12:34	老化対象か。
0:12:36	ただあれですね、評価対象の中に固縛のものと、建屋として対象にするものがごっちゃになってるので、そこは今フラグ分けてますんで内数分けられますので、分けたいと思います。以上です。
0:12:49	はい。規制庁谷です固縛。
0:12:57	あとビールかもしれないんですけど、波及
0:13:01	影響は施設、
0:13:02	内容、
0:13:11	はい。日本の石田でございます。こちらは今、波及影響のやつ、類似品にカウントを含めるということで、個別にカウントはしてませんが、その中に何が入っているか要は設備リストにカウントされてないもので、
0:13:27	この数に含めたものが板なりがあるかは、別の例えばリストとかですね、あの例明確にしたいと思います。以上です。はい。成長度Sベースは、
0:13:42	いっぱい出てくる
0:13:45	はずベッドにされてるのに何か、
0:13:55	カミデです。耐震の話ですけど、
0:14:00	特に56条、SDもそうですけど、

0:14:03	SBCがこれだけあって、新規のSVCであとはピーチだったり、B4のSD、Cですねあと波及影響っていうのは、
0:14:14	もう設備リストの耐震クラスのところ、悪影響だったらそれはそれで、ピーチとか、いうフラグを立ててわかるようにしているので、
0:14:25	今更精査してますっていうのもよくわからないんですけど。
0:14:31	どういうところを今精査されて、
0:14:36	はい、J2荻野イシハラでございます。
0:14:40	昨日やった時点では事実確認に近いものも含まれてます。おっしゃっていただいている、耐震が一番各迷わないところでベースで数を書いているので、
0:14:53	それを比較したときに、このB1に入っている例えば、既設のものでSになってる数のカウントとかと、
0:15:04	実際
0:15:08	三重の竜巻のBで、防護対象っていうのは安重なので、これとのカウントが非常に大きくずれが出たときに何が全部対象なのかってのは実際の
0:15:18	要件名が、耐震クラスバーになるので、そういった容器タカハシの容器ですね、そういうものの数がちゃんと引かれたものとしてカウントが合ってるかとかですねそういう事実確認をしているのと、
0:15:29	半分半分以上ですね。
0:15:32	あとは工事实際のいろいろ調べたら工事の件数が非常に雑にカウントされてたので、工事としてそれぞれの条文に関係する工事ってのが何かというのを、
0:15:43	例の見ながら、精査をしていたというところが、週末やってたとほとんどでございます。あとはまだ確認をしてるのが、実際
0:15:53	例えばですけど、56条の耐震クラスでCクラスになった者の数と、
0:16:00	実際新規の竜巻で出てくる数のうち、先ほどもありましたけど竜巻防護対策施設はCに入ってますと、それと安全機能を有する施設いわゆる防護対象じゃないものの数を、
0:16:13	出したものと、先ほどの新規のCクラスの数の基本合う方向に行くと思ってるんですけど例えばこれが合っていないっていう場合は、何が場合、カウントで、
0:16:25	抜けてるものを対象になってないものがどういう差があるのかというのの事実確認をしたということでございます。以上です。

0:16:34	はい。規制庁神です。工事のところは確かに設備リース等ではできないので、お名前、悩んでも仕方がないかなという感じですね。
0:16:46	安重だけのSじゃないっていう話は、
0:16:49	リストで相当かければ件数が出てくるし、
0:16:54	当然許可でも特にしてたことなんで、て感じはしますけど、とりあえず状況としてはわかりました。私の方から、
0:17:09	規制庁シミズです他規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:17:14	清町谷です。あと、
0:17:16	もう、
0:17:17	わかりません。コサクですすいません。
0:17:21	先ほど、
0:17:22	先ほどというか最初に、タジリから言ったもののうち、SAとの関係っていうの耐震はSA条文入れてるんですけど、
0:17:33	竜巻でSA言われてましたガス、なんで入れてるのかっていうようなこととかどういうふうな考えで入れて、どう説明するつもりなのかの説明をお願いします。
0:17:46	はい。日本原燃石田でございます。はい。竜巻ですね入れているのは今の添付書類の構成上、構成を踏まえた上で、
0:17:56	健全性説明書から子供の添付で、竜巻を考慮するべきものとして、DB側に預けていると、防護対象として何を選定するかってのが子供のテンプ側で明確にされ、
0:18:11	評価対象としてこういうものを評価の方のAD側で受ける評価方針なりに預けているというところの関係を踏まえた上で、竜巻のところは衛星とSAの評価対象というのを明確に数字を書かさせていただいたと。
0:18:25	ということでございますこれは固縛も同じように、DB側の竜巻の方の評価でやっているのです、それとの関係ということで整理をさせていただきました。
0:18:37	補足です。それで言う等、
0:18:42	竜巻の資料にそういう、そういう関係からSAのものも、
0:18:46	合わせて整理して説明しますっていうことが書かれてるってことですか。

0:18:59	はい。弓削西田でございます。そういうことが今八条で確かに竜巻の説明方針と書いて、急にS Eが出てきますのでそういうことを示したいと思います。まだ今書ききれてません。以上です。
0:19:13	コサクです。それは先週お話ししたはず
0:19:18	書ききれてないというところはなぜかっていうのは疑問なんですけど、そういうのを含めてこの場で認識合わせてこうねと言っていたものが出てこないということで非常に、
0:19:31	何やってるのかなっていう気がしています。最初に田尻が言った通りですけども、
0:19:39	今の話でいうと
0:19:42	溢水とかから出てくる耐震
0:19:47	の話っていうのはどうなるんだという、耐震の方に、
0:19:51	そういうことを含めて入れるんじゃないのかっていうふうな値にもなっちゃうんですけどそうはしてないんですね。それはなぜですか。
0:19:59	はい日本イシハラでございます。はい。実際、耐震評価はおっしゃる通り耐震計算自体は耐震側の添付書類計算書としてつけております。水の除外の考え方だったり除外する対象物を、
0:20:13	S E の添付も含めて規制側で全部明確にしているので、整理としては溢水については、水源の除外をしたものとして何がいるかを、水のシートとしてカウントを整理しよう。
0:20:27	いうことで考えておりました。そういうのの全体の考え方っていうのも整理をせよというのは前回お話を先週ですね、いう時点でさせていただいたものだど認識をしていますがまだそこまで示していないというのが現状だと思ってます。以上です。
0:20:42	コサクですカウントをどこで示すかっていうのは考え整理をして、まとめてもらえばいいとお話しましたが、それを示してもらわないと話ができないのでよろしくお願いします。
0:20:54	一方で数を示さないまでも、耐震の方で
0:20:59	1 水源にしない設備の耐震設計も見ていくということであって、
0:21:05	耐震側でそれがわかるようにしていただく必要もあろうかなと思いますけど、いかがでしょうか。
0:21:12	はい。日本石田でございますはい。耐震側の A と B2 として評価が必要なものの、水源として土肥助川で表、

0:21:25	評価対象か業界対象を明確にするものも、この中で評価をするんですと、設計を示していくんですということがわかるように、記載を
0:21:36	注記※もしくは何かの形で明確になるようにさせていただきます。はい。
0:21:43	それもそうですね。前回それを出せと言われていなきゃいけないのでは失礼しました。
0:21:49	はい。よろしくをお願いします。ヒアリングで何度も同じことを言わないで済むように、こうやっているわけですし、あとヒアリング文字起こしにしてですね、
0:22:01	後からでもしっかりと確認漏れのないようにできるようにして運用しますので、原燃においてしっかりとそういうところは押さえておくようにお願いします。
0:22:13	はい、与儀西田でございます。はい。承知いたしました。
0:22:18	あ、すいませんカミデです。今のやりとりで、石原さんが、水の
0:22:26	関係で耐震に飛んでくるやつ、B2って言ってましたけど、
0:22:30	ビジネスです。すいません。はい。ビーチです。はい。
0:22:35	はい。P E G。
0:22:38	あ、規制庁カミデです。
0:22:40	ビーチだけに入る。
0:22:44	いやB4の中にも今いるんですよ。
0:22:47	だから、いずれにしてもわかるようにというかこの内数の中には雨水の影響あるやつがあってそれはビーチと同じような説明の仕方意識でやっていますということです。
0:23:00	はい、吉田でございますはい。
0:23:03	はい。そういうの修ちゃんを書いていこうじゃない、こうすべきだっていう議論が早めできないといけない、こんなことになってしまいます。はい。申し訳ございません。はい。
0:23:14	はい。カミデです。あと、先ほど私とのやりとりで数の整合その地震と竜巻とで、シート、これと地震のこと竜巻とことみたいな話でしたけど、
0:23:27	それで地震と竜巻で家だけでやってるのか、その前条文ちゃんと見ているのかっていうと、状況としてはどっちなんですか。
0:23:37	はい。乳井石田でございます。

0:23:42	私の絵が回ってないのもあって、今は審査会合に3枚出すやつが、
0:23:50	関の山で仰ってましてそれ以外のやつを今日から始めようと思ってました。以上です。
0:23:57	規制庁神です。何かそれって話が違うような感じがして、ちゃんと会合では代表的なところだけでやりますけど全体設備の、
0:24:08	分類の整理をしていくっていう話でしたよね。
0:24:13	はい、日本石田でございます。数のカウントはすべて出てございます。私どものチェックがまだ追いついてないということでベースとしてちゃんと越冬さ、まとめていくっていうのは、お約束した通り、作業が進めてございます。以上です。
0:24:29	はい。規制庁深見です。この後また分類の話もするんですけど、
0:24:35	まだあれですね被水の防護設備が増えるかもしれないそうになると、耐震の数にも影響が出てくるんだけど、という状況では、先週の金曜時点ではありつつも、会合までにはそこはクリアにして、会合では確定した。
0:24:50	耐震のところ、確定した数字として説明をしたいということでしたからそれに向けて、どういう時点の資料提示が着とヒアリングを進めていっていかってという話も後で聞ければと思います。
0:25:06	はい乳井西田でございます。はい先週お話したい水の件についてはそのあと、
0:25:13	S Eのヒアリングもあり金曜日の朝のヒアリング周りで、その株評価対象の件については今回設工認として出した、まずカウントをさせていただくと。
0:25:28	これは設計方針としてヒアリングをする中で我々としてまだ足りてないところがあるということでこの施設工事のヒアリング審査のす中で
0:25:38	ちゃんと詰めていこうということになりましたので、現時点では申請した時の数として今カウントさせていただこうということで、作業をしております。以上です。
0:25:49	はい、規制庁亀井です。何で介護市場においても、まだそういうところがありますよ。であったり最初のところで設備リストはあくまでもそれを起点にした数字ですっていう説明がある。
0:26:02	そう。
0:26:03	石井委員。はい。
0:26:08	はい。カミデずとりあえずわかりきった以上です。

0:26:13	規制庁田尻です。会合資料で今説明で話し合っていて、地盤は今日午後にヒアリングやるんだと思うんですけど、DPの方の後ろにつく資料っていうのはもうあの方こそは終わってると思っていいですか。
0:26:34	はい。弓削西田でございます。このまま行くとまた、
0:26:40	B側の設備の資料について無効性は、決めましたがまだ私がチェックできてないというのが現状です。それも含めて、
0:26:52	今日、早い段階させていただいて、資料としてはパッケージ化させていただきます。結局市として何をやってるか2-1として他の条文とリンクも含めて関係条文を
0:27:06	ちゃんと整理をした上で、その設計方針との関係で構造を示すというようなことの構成で、その設計方針と構造のところの紐づけをしてということで、資料を提示をさせていただきたいと思ってました。以上です。
0:27:20	はい。規制庁谷です。
0:27:22	これに関しては基本的に1個1個はさ、ちゃんと書いてくださいねっていうところを最低限守っていただきつつ後はちょっと出てこないところ行ってもやりづらいところがあるので、早めに出せるような早めに出していただいて明日でしたっけ、ヒアリングできれば、
0:27:39	保坂です。
0:27:43	今、田尻が言ったことも、担当者が説明をすれば、
0:27:48	ここで話ができるはずで、
0:27:50	なんで、
0:27:51	石原さんがまたは私だけになっちゃうなんて言いながら、担当者が出てくれないかっていうとどういう状況なんですか。
0:28:14	コサクです誰もしゃべれないんだとしたら、責任者の佐藤さんですか。佐藤さんじゃないなら誰ですかね。
0:28:20	すいません日本原燃佐藤です。
0:28:22	すいませんその作業者とはですね医者と話し意思疎通を図りながら今回資料を作成してもう出せる状況にはなって下がコサクですそんなこと聞いてんじゃなくて、
0:28:36	このヒアリングで何でそういう実情をしゃべれないんだと。
0:28:40	いうことを言っていて、コミュニケーション取ってますのでっていうんだったら、
0:28:44	担当者レベルの回答もちゃんとしてくださいと。

0:28:48	そのためのヒアリングじゃないですかと。
0:28:50	いうことだけど、その手配をしていない佐藤さんは何の仕事してるんですかっていう。
0:28:58	日本原燃佐藤です。申し訳ありません。ちょっと今日資料が出せなかったのでもっとすいませんそういう手配、すいませんコサクです資料を出してなかったっていうのもそもそもそれも約束違反ですけど、
0:29:09	人を出してないっていうことが最も問題なんですよ。
0:29:13	ヒアリングっていうのは、そちらの状況をちゃんと担当から話を聞くという場であって、
0:29:19	担当が出てきてないのにヒアリングなんかありえないですよ。
0:29:23	坂井もやめましょうかヒアリングも全部やめましょうか、会合だけでやりましょうか。
0:29:28	そういうことですね。
0:29:29	以上です。
0:29:31	表現するのですみません私の認識、認識がすいません非常に甘くて申し訳ございません。
0:29:36	以降気をつけますのですいません継続させていただきたいと思います。申し訳ありません。
0:29:42	コサクです。すぐに担当者をお呼びください。以上です。
0:29:57	成果で言いますが、コサクです。
0:30:00	今の話を先週してありますからね。
0:30:02	何でもかんでもイシハラさんになっていて、
0:30:05	実情をちゃんと作業者がどう考えてるのかこちらが伝わってこない。
0:30:09	いうのではヒアリングの意味がないから、
0:30:12	今後は、石原さんじゃなくて担当がしゃべるようにと。
0:30:15	伝えていたはずですよ。
0:30:17	それを履行していないすいませんやりますって言われても納得いかないんですよ。
0:30:24	はい。日本原燃清水です。すいません、介護資料のインプットになります解放し、すいません、構造概要の今の状況をご説明させていただきたいと思います。

0:30:34	構造概要の共通 12 という資料で今、まとめておりますけども、状況といたしましては先週、ご指摘いただいた内容を踏まえまして、第 2 回申請は条文ごとに説明するんだという考え方に基づいて、
0:30:50	資料の 1 ポツの概要まとめ方のところの方全体見直しているのと、
0:30:56	条文ごとに説明資料をまとめますので、すみませんこちらも資料先週出すと言って出さなかったんですけども、外部衝撃関係でまとめます新設する設備、
0:31:08	おうち、第 2 非常用ディーゼル発電機につく日、飛来物防護ネットの構造概要の部分を、資料をまとめております。先週のコメントを踏まえまして、設備リストでついている。
0:31:21	関連条文全条文をですね、並べたリストを追加するのと、それを紐付けて、要求事項と構造概要の説明をする資料の見直しをし、資料は、一応今形にはしているんですが、何か、
0:31:34	チェックを受けている中で、ご指摘を受けて今資料の方リバイスしております、今午前中までにですね、資料の方、修正の方をしましてですね。
0:31:44	本日夕方、共通資料 12 番の方、再度提出させていただきたいと思っております。その内容を踏まえまして、
0:31:56	対応資料の方にも同様に反映の方さしていただきたいというふうに考えております。
0:32:05	補足です。渋谷さんすみません、今介護資料の話をしてたはずなのが共通 12 の話に変わったのは、
0:32:14	もう最後ちらっと言われてたんですけど、共通 12 を整理した上で会合資料に落とし込むという作業の流れになっているので、まだ修正ができてないってことなんですか。
0:32:26	はい。日本原燃志水です。基本的な流れはすそうです。一応資料としては並行してやってはいるんですけども、最終的には 12 を、野田最終の内容を取り込んでというふうに考えておりました。
0:32:43	古作です。
0:32:46	作業の状況、
0:32:48	が、こちらの思ってたよりも進捗が悪いということはわかりましたけど、
0:32:57	増そうだ。

0:33:01	あまり、
0:33:02	切り分けて話してもよくないのかもしれないんですけど、
0:33:08	1 ポツの関係でいう等、審査会合での資料としては条文ごと話をする と。
0:33:15	いうことになっ
0:33:17	てまとめ結局一緒なんですかね条文ごとと言いつつも、前、先週お話し しましたけど関連条文、
0:33:24	もあって、関連条文のほうもあわせて説明をしないと、あちこちで何度 も同じ設備が登場してきちゃってということだったり、
0:33:36	それぞれの条文要求を踏まえた構造設計ということがあった上で当該条 文の対応をとらなきゃいけないと。
0:33:46	ということなのでまとめてしまう、示しますということだったと思うん ですけど。
0:33:51	共通 10 年の場合はそういう関連条文も一式書かれる。
0:33:58	てこと。
0:33:59	でよかったんですねイチポツ関係のその要求事項という意味で、
0:34:02	はい、日本原電シミズですはい今おっしゃっていただいた認識の通り で、
0:34:06	主として説明する条文を明らかにするとともに関連する条文の構造概要 をまとめて一つの設備として、全体パッケージでご説明する方向でまと めております。
0:34:18	はい。補足ですそれで共通 12 の方は先週も見せていただいて、作業を 進められているという認識はあるんですけど、
0:34:28	それを審査会合資料としてどう集約させるんだってというイメージがちょ っと湧いていないんですけど、どう作業されて、
0:34:48	人間の石田でございます。そこで私が登場しまして、その役割が私でご ざいます。今日 92、シミズに取りまとめてもらって作ってもらってま す。
0:35:00	構成をもとに、設計方針として、1 ポツのところを何をつづけていて、2 -1 としての構造については、シミズの方でまとめてくれている共通純 理由キック元になる条文がなりで、それに関連する条文が内入れ

0:35:20	ということをちゃんと整理をした上で、それぞれの設計方針と、構造のリンクを図って設計方針を具体化して構造で恒設にしていきますよということ、
0:35:31	サマリーになってしまいますけど、審査会合資料の方にパッケージ化しようと思ってたところでした。
0:35:40	はい。補足ですそうすると一望つつうわあ、
0:35:45	竜巻の関係では第1回で大体説明しているけども、
0:35:51	関連条文ということで
0:35:56	それも第1回で入ってる中入っているのかもしれないですけど、こういうものが関連してますよという頭出しをした上で2-1に入っていくということですかね。
0:36:07	弓削石田でございます。まさしく先週の時にどうするのという質問を受けてこうしたいと思っておりますっていう話をしたのは、1発あくまで竜巻の条文なので竜巻として第1回からあまり追加分がありませんけども同じようなものですよということの話。
0:36:25	ただ設備としては新規なので2-1として新規設備の構造の説明をしますと、ただその構造を説明するときには当然その構造の骨格になってる時に上級事項には、
0:36:37	竜巻以外の条文も関連するのでということで、2-1の方でその関連条文を上げた上で、構造について説明を整理するという形で流させていただきますということで、
0:36:49	先週お話しした通りの形に指定をしようとしてました。以上です。
0:36:56	はい。補足ですわかりました。
0:37:01	それで話を戻すと、そうなっている資料の提出が、
0:37:08	今日早めってということ。
0:37:11	だというふうに思いましたけど、どんな進みなんでしょうか。
0:37:19	はい。伊井営業マネージャーでございます。シミズの方の資料にコメントをつけたの私なんですけど、それを回収して、それをもとに、パッケージとしてどういうふうを導入を組み込むかという文章と、
0:37:34	ここにこういうものを組み込みたいってのはもう決まっていますので、そちらの資料のコメントの反映は見次第、それをパッケージとしてはめ込んでいくと、今すでに暫定版ではありますけどはめ込んでますので、

0:37:47	それを入れ替えるという形になると思いますので、共通2の完成等々ほぼ同時にでき上がると思ってます。はい。
0:38:01	はい、迫です。わかりました。先ほど田尻が早目にと行ってたような気はするので、適宜、
0:38:07	連絡を取って提出をお願いします。
0:38:16	規制庁シミズです。
0:38:18	他、規制庁側から確認ございますでしょうか。
0:38:24	なければ、すみません、初めに挙げていた。
0:38:28	いただいた項目と忘れてしまったんですけど、次の説明、原電側からありましたでしょうか。
0:38:39	日本原燃佐藤です。本日は会合資料と累計分類、構造概要の説明をさせていただこうと思っておりました。会合資料の一連の流れの中で、類型分類の状況であるとか構造概要の状況についてもご説明させていただいて、
0:38:54	たつもりですので、本日これ以上ご説明するところはないかなというふうに思っております。以上です。
0:39:00	規制庁田尻です。会合資料の話聞いてて水分の話っていうのは、今日時点で示されるっていうのは、立末と、あと、最新版耐震絡みのやつだけだと思ってるんですけど他っていうのはどうしてでしたっけ。
0:39:26	はい。日本原燃蝦名です。はい、おっしゃる通りで、本日、数が入ったものと、あとそのエビデンスを提出させていただくのは、
0:39:36	耐震と、あと耐震と竜巻の三つになってございます。それ以外のものはですねちょっとこれから、先ほど石原が話をした通り、
0:39:47	チェックって、修正とかしてくるんですけども、入れる箱というんですかねそちらについてはちょっと早いうちに、出せるようにはしたいなあというふうに考えてございます。ちょっとそちらの方も、
0:40:00	この週末の作業で若干変わってる部分がありますのでその反映をさせた上で提出させていただきたいなと思ってます。以上です。
0:40:09	規制庁田尻です。いつってのがよくわかんなかったんですけど状況としては、竜巻とか耐震において、とりあえず1回形そろえたもん
0:40:17	で、それに対してある程度コメントがつくだらうというのがあるから、
0:40:22	っていう意味では同時並行で進め
0:40:24	終わりかけて

0:40:27	なおそのヒアリングを踏まえたけ。
0:40:29	明日以降5日お金を出そうと思ってます。
0:40:38	はい。日本原燃、蝦名です。はい、そのような認識でございます。以上です。長タジリつ具体の日付に関しても、今時点でどこまでって言うても何か、
0:40:49	何かまた変な数字だけ言われそうな気がするんで、とりあえず明日の朝
0:40:53	タイミングが少なく、
0:40:56	あとは設備構造も似たようなもので、時点の話でまずやってみましょうって言うのは、開放自体はね恒久に近いような状況で今進んでる気はするので、他だって取って示してくださいよって言う状況変わらないですし、外部事象だけじゃなくて他のやつだっているいろいろ整理が続いてると思うので、
0:41:12	ちょっと今日言うと、いっぱいいっぱいになって会合資料もぐちゃぐちゃになりそうなのでこれ以上は言いませんけど案件はあるはずですよって言うのはコメントまで千野から以上です。
0:41:26	はい。日本原燃の蝦名です。す。はい。風景分類、あと構造概要についても、明日の朝の時点で、ちょっとスケジュール的な部分は、お示ししたいなと思っております。以上です。
0:41:42	規制庁清水です。ほか、全体を通してでも規制庁側から、
0:41:46	特にございますでしょうか。
0:41:49	古作です。これも先週からの話なので余計ではあるんですけど、
0:41:55	今の話は特にS Aが気になっていてですね。
0:42:02	累計どういうふうに示すつもりなのかとかって言う認識を合わせていきたいので、
0:42:10	すけどそれ、そういうのもあれですかね、どう、どう示していくつもりなのか、明日の朝で話ができるのか、どういう感じでしょうか。
0:42:21	日本原燃清水です。はい。野瀬御説明としては、はい。明日の朝ご説明できるように、はい。準備さしたい作業としては継続してますのでちょっと、はい明日の朝ご説明できるように対応させていただきたいと思います。
0:42:37	はい。コサクですよろしく申し上げます。
0:42:43	規制庁シミズほか全体を通して規制庁側から、
0:42:47	確認ございますでしょうか。

0:42:53	千賀もよろしいでしょうか。
0:42:56	瀬野館で1点だけ今日聞かないですけど溢水とかに関しても明日以降とか、随時状況を説明してもらおうと思ってるので、とりあえず今日は会合資料がメインということで、状況は終わりましたので、自分から以上です。
0:43:09	はい。日本原燃蛸名溢水についても、状況状況をですね、境の中でお話さしていただく必要あると思ってますんで適宜、ちょっと状況、
0:43:22	ご説明さしていただきたいなと思っております。以上です。
0:43:26	コサクですちょっと確認ですけど今の状況って言うてるのは、申請段階での整理の状況ってということなのか、改めて
0:43:38	対象なりを精査をしてやっている状況なのか。
0:43:43	別所主席部員は後者のつもりでした。
0:43:48	はい。日本原燃の蝦名です。我々も後者の方、メインで、その他、1配置というか最善者の方でもですね、状況は後説明していかなきゃいけないかなと。
0:44:01	その二つ分けて説明していかなきゃいけないと思っております。以上です。
0:44:06	はい。補足です。わかりました。なお、
0:44:09	蝦名さんの方から二つ分けてという話でしたけど、並行してということなので、
0:44:15	その辺りもどう進めるのかを、
0:44:18	お話しいただければと思います。
0:44:21	けど、今何かいえることとあります。
0:44:25	はい。日本原燃の江村です。今ですね金曜日のヒアリングを踏まえてですね、先ほど言った全社公社含めて、大きく四つぐらいに分けられるのかなというふうに考えてございまして、
0:44:42	まず、はですね、S AとD Bの合流に関する部分ですね、そちらの方は、まず2月15も、
0:44:54	朝ミーティングでですね状況をご報告させていただきたいというふうに考えてございます。あと二つ目三つ目はですね金曜日のヒアリングを受けて、共通00とかでですね、

0:45:08	多分説明が足りてない部分というのがございまして、一つわかりやすい例で言いますと、電力との違いみたいな部分が全然理由になっていないというふうな部分。
0:45:22	があり、そういうふうな修正するが、しなきゃいけないようなものっていうのを早めに修正作業をしたいというふうに考えてございます。あと、もう一つ、スロッシングみたいなですねちょっと検討が必要なものっていうのは、もありますんでこちらは、
0:45:39	対応方針を早目にご説明するというふうに考えてございます。
0:45:43	あとは、最後に表評価する対象の選定の再整理といった、先ほどの話でいう前者の部分になりますますがそれが四つ目には、
0:45:56	ほぼですね、すみません、にあります、それ一もですねちょっと増強は、的に報告していきたいというふうに考えて、
0:46:07	また、その四つぐらいに分けております。以上です。
0:46:15	はい。補足です。大枠がわかりましたけど、今の最後のポイントっていうのは、
0:46:25	最終的にはそれぞれのプロセスのな、まず評価プロセスの中の各項目ごとにどうやってってるんですかっていうことをヒアリングをして、
0:46:37	いかなきゃいけなくて、
0:46:39	その一番上流が対象設備の明確化だったり何なりっていうことになると思うんですね。
0:46:47	で、
0:46:49	その辺りどう進めるのかっていうのは、今最後に言われたんことだと思うんですけど、現在の原燃の状況がどうなのかということ踏まえてということだと思しますので、
0:47:02	まずはそういうところ生説明いただいてヒアリングをどう進めていくのかという話をさせていただくのが大事かなというふうに思います。
0:47:12	で、さらに
0:47:17	等スロッシング関係の花Cでこういう
0:47:22	保有というか特殊なことを、他に比べるとですね、やっているということで、それは先行してやらなきゃという話でしたけど、
0:47:32	それだけでもないと思うので、そういう点では、ここヒアリングを先ほど言いましたけど、1回その全体をなめてどこが、
0:47:45	と空輸

0:47:47	流のものなのか、ヒアリングをしていかなきゃいけないのかという認識合わせをまずするというのも大事なかなと思いますので、
0:47:57	もうそれが一番最初言われた二つ目に言われたのか、
0:48:02	00の中で違いをどう見ていくかと。
0:48:05	いうことにもなっていくかと思うんですけど、そこら辺の相互関係ってどうお考えになってますか。
0:48:22	ちょっとお待ちください。
0:48:28	今のやつだと、
0:48:46	助成、
0:48:58	はい。日本原燃の蝦名ですすみませんを渡しました。
0:49:02	多分ですねこれ全体を上げてく上でやはり発電炉と違っているところをちょっと整理するのが優先かなというふうに考えてございますんで、その発電炉との違っているのを
0:49:20	理由が示せてないっていうか、理由になってないような部分とかも含めて、修正さしていただいてそちらをベースで話を進めることが必要かなというふうに考えました。その上で、
0:49:33	各部分ですね、がちゃんとその違いも踏まえて、妥当かっていうのを確認していく必要があるのかなというふうに考えました。以上です。
0:49:45	規制庁、佐治です。ちょっと1点、前から気になって聞いてみたかったんですけど、溢水って誰が設計したんですかね、なんか。
0:49:53	なんかその炉との比較だって作った人がいるんだから、どう考えたっていうのがあるから、その人から言えば終わるもんだと思ったんですけど何か改めて整理っぽい雰囲気はずっと出されるんですけど。
0:50:03	これ、誰が書いてっていうか誰が設計考えでしたっけ。原燃でしたっけそれともメーカーとか何か頼ってんでしたっけ。
0:50:15	はい。日本原燃の蝦名です。原燃の方になりますんで、責任者っていう意味では篠崎が、
0:50:25	ですけどちょっと私の方だけは所用で不在になってますんで、すみせん私の方から説明させていただいたという状況で、以上です。
0:50:34	規制庁田井です。塩崎さんは多分全部把握してる感じがしなかったんで誰がって聞いてるんであって篠崎さんがいつも説明したの知ってるんですけど、最初に作ったやつが別において他の方に移動したとかそういう連れて来いよって話では若干最近思っはいるので、

0:50:49	ちゃんと全部を説明できる者を据えてくださいねヒアリング説明するときに、何かいちいち持ち帰ったり、ちょっと待ってくださいとか言って何か数分待たされたりっていうのが多すぎるので、
0:50:59	そこは認識して対応いただければと思います。自分から以上です。
0:51:04	はい。日本原燃の伊賀です。はい。趣旨は理解いたします作成したものが、その文章を書いたものが答えれば、その意図ってというのはすぐ答えられると、いうことだと思いますんでそのような対応をしたいというふうに考えます。以上です。
0:51:26	佐古です。今の点でいうと、特に耐震は第1回だったら大成建設が同席していたり三菱重工も同席していたり、
0:51:38	最近ですと、当然設計も調整していたりと。
0:51:42	いうこと同席以上に説明をしていたりと。
0:51:46	ということですので他の条文も同じように、実際の作業者が実情をちゃんと説明できると。
0:51:56	いう体制でヒアリングに臨んでいただければというふうに、
0:52:00	バス、
0:52:02	ええと先ほど00がまずあってというふうに言われましたけど、
0:52:10	現状認識している課題があればそれはそれでやったらいいと思いますので、
0:52:17	やりつつ、全体を早めに示していくということで、あまり何かの作業待ちみたいなことにならないように、
0:52:27	そこら辺の認識を合わせながら進めていければと思います。また明日なり、適宜話があろうかと思しますので、
0:52:36	その点意識して対応いただければと思います。以上です。
0:52:40	はい。日本エヌエビナです。はい。先ほど優先ということで、お話ししましたけど多分、これも
0:52:49	導入工事並行じゃないですけど、ちゃんと並行して進めなきゃいけないという事実がございますんでそのような作業でご説明したいと思いません。次お願いします。
0:53:04	規制庁吉見です。他等は、規制庁側から本日のヒアリングで確認する事項等ございますでしょうか。
0:53:13	藤現側特によろしいでしょうか。

0:53:18	はい。日本原燃側です特にございません。ありがとうございました。はい。それではこれでヒアリングを終了したいと思いますので録音を停止します
---------	---